

印刷けんぽ

新年特別号

ニュース No.185

全国印刷工業健康保険組合
東京都中央区新川1-5-13
☎03-3551-9301
平成31年1月1日発行
<http://www.insatukenpo.or.jp>



年頭のご挨拶(年頭所感)

理事長 青木 宏至



あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より当組合の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様もご承知のとおり、我が国は、世界に類を見ない少子・超高齢社会を迎えております。そのため厚生労働省は昨年5月の経済財政諮問会議において、「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」を発表いたしました。これは、高齢者人口がピークを迎える2040年を見据えて、社会保障給付や負担の姿を幅広く議論するために作成されたものです。

これによりますと、わが国の65歳以上の高齢者人口は、2042年に3,935万人でピークを迎えると推計されております。高齢者人口は2000年から2025年までの25年間で約1.7倍に増え、さらに2040年までは6.6%の増加が見込まれています。

一方で、1980年代以降の継続的な出生率の低下を受けて、現役世代である生産年齢人口(15~64歳)は2000年から2040年の40年間で2,660万人も減少することが推計されております。この間の減少率は実に30.8%となっております。その結果、2040年代には現役世代3人で、高齢者2人を支える異常な事態に直面し、社会保障制度の行方が極めて憂慮されるどころです。

当組合においても、この問題は、避けて通ることはできません。私は、印刷業界で働く皆様方が安心して生活できる医療のセーフティネットの役割を果たすことが当健康保険組合の使命であると思っております。

今年も、被保険者・ご家族の皆様方の健診や受診状況、医療費分析等を活用した第2期のデータヘルス計画あるいは第3期の特定健診・特定保健指導計画に基づき、積極的に取り組んでまいり所存でございます。また、とくに、昨年12月に開設いたしました印刷健保「健康ポータル」では、ご加入者の健康づくりに応じた健康ポイントの付与など効果的なインセンティブを導入した事業をスタートいたしました。これをぜひご活用いただくとともに、ご加入者の皆様方の健康寿命の延伸や、事業所の「健康経営」等の健康管理事業を強力に推し進めていきたいと思っております。そして、これまで以上に事業所と協働したコラボヘルスを展開し、財政健全化に努めてまいり所存でございます。

本年も、当組合の事業運営に対しまして、事業主をはじめ、被保険者・ご家族の皆様のごこれまでと変わらぬご支援、お力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆様にとって、今年がよき年であることをお祈り申し上げますとともに、年頭のご挨拶とさせていただきます。



